

立教舞研万歳!

山田 国光 (19期 昭和43年卒部)

定年退職・OB会の存在は大きい。付き合いのほとんどはOB会だ。もちろん勤務していた女子高や高校時代の友人・タクシー会社の仲間などとも飲み会はあるのだが密度が圧倒的に濃い。現役時代の思い出は50年も前のことなので記憶は定かではない、と言いたいところだがOB飲み会になると昔に戻ってしまうので案外覚えているものだ。入学して歴史クラブを探していたのだが「美男美女多数」という新人勧誘パンフにつられてフラフラと入部してしまった。後で考えるとこの入部は正解だったと思わざるを得ない。舞研活動は本来なら大学生活の一部なのだが、次第に授業から足が遠のき生活の大部分を占めるようになってしまった。まずはコンペ、新人戦・六大学戦の華やかで興奮する雰囲気。高校生活にはなかったものだ。R先輩が2年生の春に大ブレイク。

「よしこれだ!」と思い早速教室通いを志願。永吉教室に通い始めた。S先生に弟子入り、R先輩・I先輩に混じって魔のシャドーが3年生になるまで続いた。2年生になった時I先輩から「今度美人でうまい娘が入ってくるぞ」と聞かされて練習にも身が入った。マドンナTちゃんだ。彼女と組んで試合に出るという夢はすぐ叶ったものの定着はしなかった。三大学戦に出た時は女性週刊誌「ヤングレディ」に大きく載ったもののTちゃんはR先輩、A先輩のパートナーとなり自分には番が回ってこなかった。残念!しかし競技のほうは遅まきながら3年生の秋I先輩のパートナーとかけもちで出てセミファイに残るまでになった。そして4年生ではファイナリストと選手としては成功の部類であろう。上3年、下3年の先輩・同輩・後輩の交流はとりわけ思い出深い。O先輩は「オミィーら何やってんだ!」のセリフで現れ飲み・打つ・(買うはなかったが)に連れ回されて遊んだ。不思議な魅力を持つ伝説の人だ。会社を創っては潰しA先輩からの借金は返したもののI先輩へは返さないまま亡くなった。学連・舞研に残した遺産は多大だ。その後継者を自負するA先輩は話がうまく練習はあまりしない。でもファイナリスト、「口の人」で話が長い。I先輩はすぐ上の学年に2人いるが鶴見の先輩には一番世話になった。しかし現役時代両先輩の打ち出した「少数精鋭」のあおりを

まともに食ってしまった。私がマネージャーになった時部員がほとんどいなくなり
分担金などの資金繰りに大変苦労した。I先輩はその経験を薬にしたのかその後
事業拡大に成功し現在に至っている。OB飲み会は横浜で開かれることが多いが
この人のお陰である。3代目であり現OB会長となっているH貝君は金はないが
マメでよく気が回る「好青年タイプ」である。残念ながらダンスはやっていない。
さてOBになってもコモンルームでの練習会によく顔を出していた私だが人生で
珍しく貴重とも言える経験をした。ある日K君の追いコンをしての帰り道路で胴
上げをやっていたら突っ張ったリーゼントのお兄ちゃんが「テメェラこんな所で
何やってんだ!」と怒鳴り込んできた。その頃ボクシング観戦にはまっていた私
はそのお兄ちゃんにパンチを見舞ってしまった。見事に決まって彼は道路に倒れ
こんでしまった。すぐ逃げればよかったのだが「オレが話をつけてきますから」
という後輩がいてその結果を「穂高」で待っていたら話がつかずに警察官を連れ
てきてしまった。殴り合いにならず手を出した私が一方的に悪いということになり、
池袋警察に拘留されてしまった。この経験で暴力は良くないということを知りそ
れ以後の大きな教訓となった。

裁判所から拘置所まではゴム草履で戻らなければならず電車賃も池袋警察預
かりだったので途方に暮れた。すると同じ房で傷害犯のNO2(15人ほどの容
疑者が1つの房にいて序列がついていた)が家族が来ていてお金があったので「こ
れを使え」と2000円くれた。翌日はK女子高の面接だったのでギリギリで床屋
に行き就職することができた。そして誘惑⇒クビの多い女子高を無事定年まで勤
めあげられたのはあの時の経験が大きかったと思う。OBの誰もが何かしかの教
訓を舞研での経験から得ているのではないか。資本主義の限界が見え負の部分
が拡大して生きにくくなっている世の中でOB会は気持ちの拠り所になっている。
OB飲み会は楽しい。ほんとうに4年間続けてよかった。

立教舞研 同OB会 万歳!